

# 家畜衛生 いずも

H27年度 No.2  
2016. 2月



島根県東部農林振興センター出雲家畜衛生部

〒699-0822 出雲市神西沖町 918-4 TEL (0853)43-7900 FAX (0853)43-2801

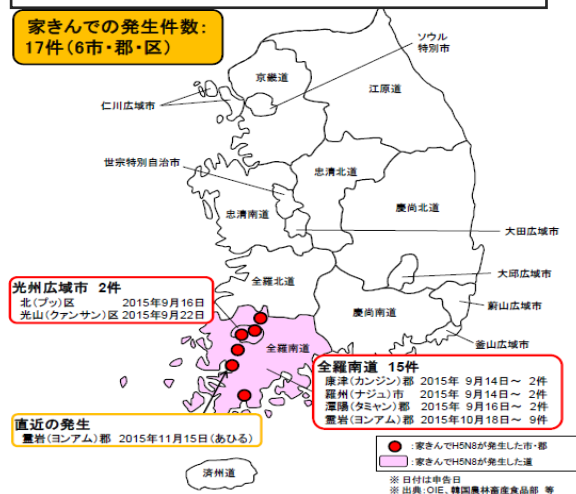
## ★家畜伝染病発生状況

平成 27 年 4 月 24 日、OIE(国際獣疫事務局)の規定に基づき、我が国は高病原性鳥インフルエンザの清浄国となりました。

しかしながら、韓国および台湾等においては高病原性鳥インフルエンザの発生が続いています。また、韓国においては本年1月に 8 か月ぶりに口蹄疫も発生しました(下図参照)。一方、国内においては、野鳥糞便から昨年 10 月末以降に本県他で低病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことから、家畜飼養者の方々におかれましては、引き続き、飼養衛生管理基準の遵守の徹底をお願いするとともに、飼養する家畜の異常に気がつかれましたら、速やかに、担当獣医師または家畜保健衛生所にご連絡ください。また、関係機関の方々におかれましては、畜舎出入り口に設置してある踏み込み消毒槽の活用をお願いいたします。地域一帯で衛生意識を高めて、伝染病の侵入を阻止しましょう！

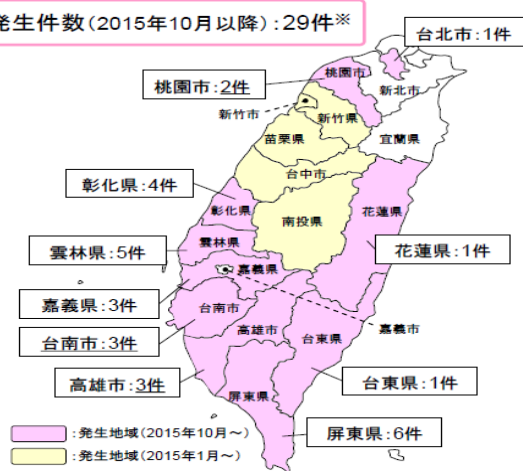
韓国における高病原性鳥インフルエンザ  
(H27年9月以降、H28年1月12日時点)

家さんでの発生件数:  
17件(6市・郡・区)



台湾における高病原性鳥インフルエンザ  
(H27年10月以降、H28年2月2日時点)

発生件数(2015年10月以降): 29件※



韓国における口蹄疫  
(H28年1月以降、2月18日時点)



再点検しましょう！！

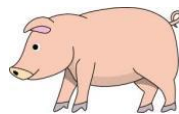
- 「関係者以外立入禁止」の看板は設置してありますか？
  - 野鳥や小動物侵入防止対策用ネット等は破損していませんか？
  - 踏み込み消毒槽は設置してありますか？
  - 畜舎等衛生管理区域へ立ち入りがあった場合の記録・保管はしていますか？
- ご不明点がありましたら当所へご相談ください

## ★牛RSウイルス病が発生！ SMS希望の方はご連絡ください

平成 27 年 10 月および平成 28 年 1 月に管内で牛 RS ウイルス病の発生がありました。本病は急性熱性伝染病で呼吸器症状を主徴とする疾病です。発生は季節に関係はありませんが、寒い時期に多く、重症牛も多発する傾向にあります。ウイルスの潜伏期間は 2～7 日で、鼻汁や咳などウイルスを含んだしぶきにより伝染し、伝染力が強いことも本病の特徴です。主な症状は発熱(39.5～41.5℃)、発咳、鼻漏、流涎などで、他のウイルス、細菌、マイコプラズマなどの混合感染により、重症化すれば成牛でも死亡することがあります。

当所では一昨年、牛 RS ウイルス病のような伝染性の強い家畜の病気が管内で発生した場合、家畜飼養者の皆様にご連絡できる体制を整備し、携帯ショートメールサービス(SMS)を利用した情報提供を行っています。本病が発生した昨年 10 月には 106 戸の方に SMS による情報提供を行いました。伝染病発生時に迅速に情報を提供することで農場での早期対策に役立てていただきたいと考えております。

ご協力いただける方は、当所にご連絡いただき、携帯電話番号をお伝えください。管内での伝染病発生時に、お聞きした番号あてに当所から SMS を送信いたします。なお、このたびお聞きした番号をこの目的以外に使用することはありませんので、ご協力の程よろしく願いいたします。



## ★衛生管理基準巡回

家畜伝染病による被害を最小限に止めるためには、「発生の予防」、「早期の発見・通報」及び「迅速・的確な初動」が重要です。「発生の予防」のためには、何より畜産農家の方々に日頃から適切に飼養衛生管理をしていただくことが大切です。

100 羽以上の家きん及び牛、豚等の偶蹄類家畜の飼養者の皆様におかれましては、家畜伝染病予防法が改正された平成 23 年以降、毎年農場に訪問し、飼養衛生管理の状況を確認させていただいております。

平成 28 年 1 月末日時点で、管内 489 戸(約 94%)の農場に訪問させていただき、飼養衛生管理基準の遵守状況を確認させていただきました。

その中でも、遵守できている農場の割合が低いように感じる項目がいくつかあります。

- ・給餌設備に野生動物の排泄物の混入防止に必要な措置を講じている。(46.0%)
- ・給水設備に野生動物の排泄物の混入防止に必要な措置を講じている。(43.1%)
- ・衛生管理区域に立ち入った者等に関する記録を作成し、1年間保存している。(37.0%)

特にこの3つの項目の実施が難しい状況となっているようです。

餌や水に野生動物の排泄物を混入させないことは、伝染病の侵入防止はもちろんのこと、一般的な衛生管理としても重要です。

もし万が一、口蹄疫等の重要な伝染病が発生した場合には、出入りされた方の記録は、迅速に関連のある農場の状況を確認させていただくための重要な情報となります。

今後とも飼養衛生管理基準の遵守並びに当所業務へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。また、対応いただいた農家の皆様、関係機関の皆様には御礼申し上げます。

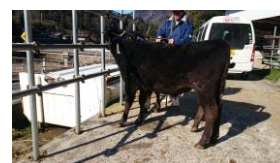
## ★全共における取り組み

雲南地区出品対策協議会は、2月4日、雲南市木次町にある「チェリバホール」において畜産関係者約80名が参加した総決起集会を開催、東部農林振興センターからは持田所長を初め高仁部長、山本主任獣医師らが参加しました。(公社)全国和牛登録協会から松宮崇行氏を招いて「和牛を取り巻く国内・国外情勢と第11回全共に向けて」と題した記念講演があり、最後に雲南市和牛改良組合長渡部彰夫氏のスローガンの発表で盛会のうちに終わりました。

出雲家畜衛生部管内では、第7～9区肉牛の部候補牛のオークションを控え地区出品対策本部ごとに行われる産子調査が佳境を迎えています。

2月1日～10日にかけて2回目の産子調査が予定されており、当所管内の奥出雲、雲南、飯南、斐川、出雲の5地区協議会で、関係機関と共に体高、十字部高、腹囲、胸囲測定や体型の確認を実施しました。

3月8日には島根県中央家畜市場においてオークションが開催されます。発育、体型、母牛の育種価等を基に厳選された概ね50頭の候補牛が上場される予定です。子牛市場販売価格の高止まりを受け、活発な取引が期待されるようです。



来年9月の本番に向け、各地区出品対策本部ではだんだんヒートアップしてきています。

## ★ホル全共について



### 【第14回全日本ホルスタイン共進会】

平成27年10月23日から26日までの3日間、北海道勇払郡安平町において「第14回全日本ホルスタイン共進会」が開催されました。全国から344頭のホルスタイン種が出品され、本県からは当所管内3名の出品者の皆様が愛牛を出品されました。本県の成績は各部門1等賞を目標に取り組み、2等賞上位に迫る健闘をしたものの目標の1等賞には及びませんでした。出品者の皆様には、最終選抜会から本戦まで長期に渡り出品牛のコンディション管理にご尽力頂き、厚く御礼申し上げます。

次回15回大会は5年後に宮崎県での開催が予定されております、出品を目指す酪農家におかれましては、さらなる乳用牛改良を推進し、5年後の宮崎大会を目指して頂きたいと思っております。

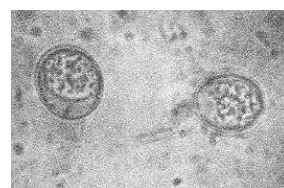
出品区分	出品者	出品牛名号	成績結果	備考
後代検定 未経産第2部	奥出雲町 若槻 隆	スカーレット ポンチャク ビビアン スカイベリー	2等賞3席 (2等賞12頭)	出品頭数24頭 全体で15位
一般 未経産第3部	出雲市 永瀬 哲也	エバーエンゼル RV フィーバー ドリカム	2等賞9席 (2等賞15頭)	出品頭数30頭 全体で24位
一般 経産第7部	出雲市 河村 保志	リバービレッジ TMF ブルック ウイリス ET	2等賞9席 (2等賞16頭)	出品頭数32頭 全体で25位



## ★家畜の医学 ～草木が芽吹くこの時期、牛コクシジウム症に注意を！～

水ぬるむこの時期、寄生虫疾病の注意が必要です。今回は牛のコクシジウム症のおさらいをしてみましょう。

大体の好発月齢は1か月から6か月齢くらいで(稀に大きな肥育牛でもあります)、下痢(必ずしも血便ではありません)が主症状です。コクシジウムは細菌でもウイルスでもなく、原虫です。



Eimeria zurnii のオーシスト[牛の臨床より]

口からオーシスト(1mmの50分の1くらいの直径しかない極めて小さい卵みたいなもの)が入り、腸管粘膜に寄生して、粘膜を突き破って出て来ます(そりゃ、下痢しますよネ)。なにせ、小指の先ほどの糞の塊に何万ものオーシストが出現してきます。

牛はしゃべらないですが、とてもお腹が痛いと思います(毛が逆立って、元気がなくなります)。当然、エサ食べませんよネ。発育が悪くなります。快復しても、傷ついた消化管粘膜修復にビタミンを消費しますので、風邪などの疾病がおきやすくなります。

じゃあ、どうするかですが、10年前からいい予防治療薬ができました(詳細は家畜診療所におたずねください)。少々お高いですが、発症してヒネちゃうよりか100倍マシ!農場別の発症パターンもありますが、生後1か月までの1回の投与でOKです。それと、感染は口から汚染された糞が入ることによっておきますので、牛舎をキレイにしてオーシストの絶対量を減らして発症予防しましょう。やっぱり、コレが第一!

お問い合わせは家畜診療所か家保まで。キチンと知れば怖い病気でも何でもありません。

## ★平成27年度 鳥根県畜産関係機関業績発表会が開催されました!



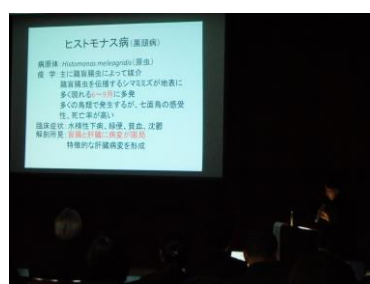
1月21日、鳥根県畜産関係業績発表会が開催されました。

この発表会は、畜産に関する試験・研究等の業績について発表討議を行い、知識および技術の情報交換および普及を図ることを目的として、毎年開催されています。家畜保健衛生所(松江、出雲、江津、益田)、家畜病性鑑定室、畜産技術センター、農業技術センターおよび中山間地域研究センターから20題の発表があり、当所からは次の3題を発表しました。

○牛RSウイルス病の発生と対応 (土江)

○酪農場におけるサルモネラO4群およびO8群分離事例 (藤原)

○採卵鶏農場で発生したヒストモナスおよびコクシジウムの混合感染事例とその対応 (原)



今年度もお世話になりました。引き続きよろしくお祈いします!

